

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 21 年 7 月 23 日 (2009.7.23)

【公開番号】特開 2007-328450 (P2007-328450A)  
 【公開日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-049  
 【出願番号】特願 2006-157727 (P2006-157727)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 K

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 3/12 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 6 月 9 日 (2009.6.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

プリンタドライバにより生成された印刷ジョブのデータを画像形成装置に対して出力するポートモニタプログラムであって、

前記プリンタドライバが生成しスプーラによりスプールされた印刷ジョブのデータを読込む読込ステップと、

前記読込まれた印刷ジョブのデータが、印刷機能の利用の制限を行う印刷制限機能に係る認証処理を行うべきか否かを判断する判断ステップと、

前記判断ステップにより認証処理を行うべきと判断した場合に、ネットワークを介した外部のサーバに認証要求を行い印刷機能の利用を制限する機能制限情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより前記サーバから取得された機能制限情報に基づいて、印刷ジョブの実行に係る警告処理を行う機能制限判断ステップとを有することを特徴とするポートモニタプログラム。

【請求項 2】

前記判断ステップは、前記印刷ジョブのデータを生成したプリンタドライバが印刷装置の利用を制限する印刷制限機能に対応しているか否かを判断することを特徴とする請求項 1 に記載のポートモニタプログラム。

【請求項 3】

前記読込ステップにより読込まれた印刷ジョブのデータに、前記プリンタドライバが前記印刷制限機能に対応することを示す情報が含まれるか否かを解析する解析ステップを有し、前記判断ステップは前記解析ステップによる解析に基づき判断を行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のポートモニタプログラム。

【請求項 4】

前記印刷制限機能に対応することを示す情報は、前記印刷ジョブのデータに含まれるヘッダであり、該ヘッダは機能制限情報に対応するヘッダであることを特徴とする請求項 3 に記載のポートモニタプログラム。

**【請求項 5】**

前記機能制限判断ステップは、前記取得した機能制限情報に基づき、印刷ジョブの設定に実行を許可されていない機能が有るか否かを判断し、前記印刷ジョブの設定に実行を許可されていない機能が有ると判断された場合に警告処理を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載のポートモニタプログラム。

**【請求項 6】**

前記印刷制限機能を有効または無効に設定する設定ステップを有することを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れかに記載のポートモニタプログラム。

**【請求項 7】**

前記機能制限判断ステップは、前記印刷ジョブの印刷設定が前記取得された機能制限情報に記述される制限を満たす場合に、前記印刷ジョブのデータを前記画像形成装置に出力し、

前記印刷ジョブの設定に実行を許可されていない機能が有ると判断された場合の警告処理には、前記印刷ジョブのデータ出力の停止が含まれることを特徴とする請求項 5 に記載のポートモニタプログラム。

**【請求項 8】**

プリンタドライバにより生成された印刷ジョブのデータを画像形成装置に対して出力する情報処理装置におけるポートモニタプログラムによるデータ処理方法であって、

前記プリンタドライバが生成しスプーラによりスプールされた印刷ジョブのデータを読み込む読み込みステップと、

前記読み込まれた印刷ジョブのデータが、印刷機能の利用の制限を行う印刷制限機能に係る認証処理を行うべきか否かを判断する判断ステップと、

前記判断ステップにより認証処理を行うべきと判断した場合に、ネットワークを介した外部のサーバに認証要求を行い印刷機能の利用を制限する機能制限情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより前記サーバから取得された機能制限情報に基づいて、印刷ジョブの実行に係る警告処理を行う機能制限判断ステップとを有することを特徴とするデータ処理方法。

**【請求項 9】**

前記判断ステップは、前記印刷ジョブのデータを生成したプリンタドライバが印刷装置の利用を制限する印刷制限機能に対応しているか否かを判断することを特徴とする請求項 8 に記載のデータ処理方法。

**【請求項 10】**

前記読み込みステップにより読み込まれた印刷ジョブのデータに、前記プリンタドライバが前記印刷制限機能に対応することを示す情報が含まれるか否かを解析する解析ステップを有し、前記判断ステップは前記解析ステップによる解析に基づき判断を行うことを特徴とする請求項 8 又は 9 に記載のデータ処理方法。

**【請求項 11】**

前記印刷制限機能に対応することを示す情報は、前記印刷ジョブのデータに含まれるヘッダであり、該ヘッダは機能制限情報に対応するヘッダであることを特徴とする請求項 10 に記載のデータ処理方法。

**【請求項 12】**

前記機能制限判断ステップは、前記取得した機能制限情報に基づき、印刷ジョブの設定に実行を許可されていない機能が有るか否かを判断し、前記印刷ジョブの設定に実行を許可されていない機能が有ると判断された場合に警告処理を行うことを特徴とする請求項 8 乃至 11 の何れかに記載のデータ処理方法。

**【請求項 13】**

前記印刷制限機能を有効または無効に設定する設定ステップを有することを特徴とする請求項 8 乃至 12 の何れかに記載のデータ処理方法。

**【請求項 14】**

前記機能制限判断ステップは、前記印刷ジョブの印刷設定が前記取得された機能制限情報に記述される制限を満たす場合に、前記印刷ジョブのデータを前記画像形成装置に出力し、

前記印刷ジョブの設定に実行を許可されていない機能が有ると判断された場合の警告処理には、前記印刷ジョブのデータ出力の停止が含まれることを特徴とする請求項12に記載のデータ処理方法。

【請求項15】

プリンタドライバにより生成された印刷ジョブのデータを画像形成装置に対して出力するポートモニタを備える情報処理装置であって、

前記プリンタドライバが生成しスプーラによりスプールされた印刷ジョブのデータを読み込む読み込み手段と、

前記読み込まれた印刷ジョブのデータが、印刷機能の利用の制限を行う印刷制限機能に係る認証処理を行うべきか否かを判断する判断手段と、

前記判断手段により認証処理を行うべきと判断した場合に、ネットワークを介した外部のサーバに認証要求を行い印刷機能の利用を制限する機能制限情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により前記サーバから取得された機能制限情報に基づいて、印刷ジョブの実行に係る警告処理を行う機能制限判断手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項16】

請求項8乃至14の何れかに記載のデータ処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

プリンタドライバにより生成された印刷ジョブのデータを画像形成装置に対して出力するポートモニタプログラムであって、前記プリンタドライバが生成しスプーラによりスプールされた印刷ジョブのデータを読み込む読み込みステップと、前記読み込まれた印刷ジョブのデータが、印刷機能の利用の制限を行う印刷制限機能に係る認証処理を行うべきか否かを判断する判断ステップと、前記判断ステップにより認証処理を行うべきと判断した場合に、ネットワークを介した外部のサーバに認証要求を行い印刷機能の利用を制限する機能制限情報を取得する取得ステップと、前記取得ステップにより前記サーバから取得された機能制限情報に基づいて、印刷ジョブの実行に係る警告処理を行う機能制限判断ステップとを有することを特徴とする。